

心地よく暮らしたいから 家族みんなでお片付け



シンプルライフ
アドバイザー
清野 知恵さん
個人や企業向けにお片付け
や収納のサポート・相談、
講座を行う。夫・息子と
三人暮らし

お片付けは誰のため？

私は家族がいつも穏やかで心地よく暮らすためにお片付けをしています。きれいな部屋にすることだけを目的にしてしまうと、家族が散らかすとイライラしたり、お母さんだけが大変になったり……。みんなを巻き込んで一緒にお片付けができるようになって、家事全般が楽になり、子どもの生活力も育つと思います。

Step 1 物の量の把握と分別

最初から家中の物を全部出して整理するのは大変。「今日はこの引き出しを片付けよう」というように、家族と一緒に少しずつ始めましょう。例えば、引き出しの中身をいったん全部出してみて、一つひとつのものをかき回さないかを使う本人に選んでもらいます。

- いる物**
使う物と在庫に分ける。今使う物は残し、在庫はジッパー付き袋などを活用し、在庫コーナーに収納。
- いない物**
速やかに手はなす。捨てる前になるべくリサイクルも考える。
- 捨てられない物**
無理に捨てず、一時保管箱に入れ、時間を置いてからもう一度判断する。思い出ボックスなどを作ってよい。

Step 2 物の置き場所を決め収納

固定概念にとらわれず、家族の行動をよく観察し動線やクセを考慮して物の置き場所や片付けの仕組みを作ると、無理なく片付けられるようになります。リビングに置かれがちな子どものカバンや勉強道具は、玄関に置き場所を作ったり、リビングの一角に子どもコーナーを作ると、自分で片付けやすくなります。子どもの細かな物はプラボックスやスライド式ジッパー付き袋で種類ごとに分けるのもいいです。色分けやラベリングをするとわかりやすくになります。コーナーからはみ出るくらい物が増えたときは、もう一度いらないかを考えてもらいましょう。



▲小さい子にはスライド式ジッパー付き袋がおすすめ

清野さんの収納アイデア

よく使う物をリビングの一角にひとまとめ

ここに普段家族がよく使う物が収納されている。突っ張り棒を利用して自在に棚づくり

扉の裏にはウォールポケットを付けて収納力アップ

突っ張り棒は、支えになるような大きめの画びょうを下につけると、強度が増す

ツメきり・はさみなど、みんなにわかりやすいように収納。ペンもお気に入りのもの1本だけ。使ったら戻すを習慣に

リビング

大切な物を片付けられる自分専用の「秘密基地」のようなコーナー。来客の時は、カーテンを閉じる

子どもコーナー

裏玄関

外への出入口に、カバンをかける場所を設置。忘れ物防止のために、ハンカチなどをを入れる場所も

在庫品をまとめておく

在庫コーナーとして、予備の日用品を引き出しに収納。細々した物は、種類ごとにジッパー付き袋にまとめるとバラバラにならない。透明の袋なので家族が探しやすい。ペンの在庫もここに

コード類もジッパー付き袋でひとまとめに

ファミリークローゼットは、片付ける場所が1カ所ですむのでラク。洋服はハンガーのままかける収納にすると、たまたま手間が省け、探しやすい

くつ下や小物もそれぞれのかごの中に入れるだけ

キャスターを利用して床を掃除しやすく

床に置く物には、キャスターをつける。取り出しやすく、掃除もしやすい

野菜や備蓄食品が入っているボックスはキャスターの上に置く

めったに使わない物はデッドスペースへ

使用頻度が低い物は、種類ごとにかごに入れ、棚の上などのデッドスペースに置く

子どもは「片付けなさい!」と言われても、やり方がわからなければできません。最初は一緒にその子にあった片付けの仕組みを考えてください。それを繰り返すうちに、自分でできるようになります。家族と仲良く過ごすためには、お片付けのルールは厳しくせずに疲れているときは休んだり、手伝ってあげたりしてくださいね。

新潟で資質を活かした片付けとファッションでありのままに暮らす清野知恵さんのブログ
おとなのしんぶんらいふ
<https://otonanosinnpururaihui.hatenablog.com/>